

令和3年4月30日



伊勢原市協働事業完了報告書

伊勢原市長 殿

住 所 [Redacted]
 団 体 名 国際ソロプチミスト伊 [Redacted]
 代表者氏名 会長 亀井 鏡子 [Redacted]

令和2年9月29日付けで協働事業採択決定通知を受けた事業が完了しましたので、伊勢原市市民協働事業提案制度実施要綱第14条の規定により、関係書類を添えて次のとおり報告します。

1 協働事業の成果

協働事業名	ストップ！ DV運動
事業費総額	14,564円
事業期間	自 令和 2年 9月29日 至 令和 3年 3月31日
実施場所	伊勢原市役所 ほか
参加者数	約2,000人
事業実施内容及びその成果	DV相談窓口のリーフレットを挟み込んだポケットティッシュを作成し、公共施設などに配置して、DV相談窓口を広く周知しました。 相談窓口のPRを行うことで「DVのないまち・いせはら」の実現に向けた意識啓発の一助となりました。

2 添付資料

- (1) 「ストップ！ DV運動」報告書
- (2) 伊勢原市協働事業収支決算書（第8号様式）
- (3) 協働事業の実施に要した費用の領収書等の写し
- (4) ストップ！ DVポケットティッシュのデザイン
- (5) 事業評価シート

第8号様式（第14条関係）

伊勢原市協働事業収支決算書

協働事業名	ストップ！DV運動
団体名	国際ソロプチミスト伊勢原

収入の部

区分	決算額(円)	内訳(数量、単価等)
事業費	(ソロプチ分) 7,447 (市分) 7,117	ストップ！DV運動事業費
収入合計額	14,564	

支出の部

区分	決算額(円)	内訳(数量、単価等)
需用費	(ソロプチ分) 7,117 (市分) 7,117	ラベル印刷ポケットティッシュ 1,000個*@7.117円 ラベル印刷ポケットティッシュ 1,000個*@7.117円
事務費	(ソロプチ分) 330	振込手数料(330円)
支出合計額	14,564	

ストップ！DV運動 事業評価シート

段階	評価項目
準備段階	<p>1. 協働が開始された段階はいつからか <input checked="" type="checkbox"/> 企画の段階から <input type="checkbox"/> 実施段階から <input type="checkbox"/> その他()</p> <p>2. 協働の呼びかけはどちらからか <input type="checkbox"/> 市民活動団体 <input type="checkbox"/> 市 <input checked="" type="checkbox"/> その他(H25年度に実施した団体の勉強会がきっかけ)</p> <p>3. 協働で行う意義は明確だったか <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 意義〔DV根絶に向けた活動に、女性団体が積極的に関わることで広く市民への周知に効果的である。〕</p> <p>4. 事業の目的は明確だったか <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 目的〔DV相談窓口を広く周知(PR)することでDVの根絶を図る。〕</p> <p>5. 事業の目標(何がどのような状態になることを意図しているか)は明確だったか <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 目標〔DV被害者が早いうちに相談することで深刻な事態になることを減らす。〕</p> <p>6. 市民活動団体選定のプロセスは適切だったか <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 理由〔学習会をきっかけに発起した。〕</p> <p>7. 相互理解は十分だったか <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 理由〔役員と職員が密に連絡調整を図った。〕</p>
実施段階	<p>8. 協定書作成にあたって十分協議したか <input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ 理由〔事業の目的や意義が明確だったため、協定書はそれを形にすることで十分であった。〕</p> <p>9. 事業運営上の役割分担は適切だったか <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 理由〔事業展開がスムーズであった。〕</p> <p>10. 進捗状況や情報を共有できたか <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 理由〔「報・連・相」に努め事業進捗などの共有化を図った。〕</p> <p>11. 実施プロセスの記録は残せたか <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 理由〔双方で事務処理等記録を行った。〕</p> <p>12. 互いの特性を活かすことができたか <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 理由〔実働は団体で、裏方の準備・事務的なことは市職員が担った。〕</p>
終了後の段階	<p>13. 事業内容の報告を作り、公開できたか <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 理由〔)</p> <p>14. 目的・目標は達成できたか <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 理由〔)</p> <p>15. 今後の課題と改善策を話し合ったか <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 理由〔次の協働に向け、意見集約に努めた。〕</p> <p>16. 総合的に見て事業に対する満足度は 【 5 ④ 3 2 1 】 理由〔少ない経費で効果的な事業となった。〕</p> <p>17. その他、気づいた点</p>

「ストップ！ DV 運動」報告書

■ 目的

内閣府が2017年に実施した調査で、女性の3人に1人が配偶者から何らかの暴力を受けていることが明らかになっていますが、どこにも(だれにも)相談しなかった女性が38.2%にもものぼっています。

また、伊勢原市の調査では、41.3%の人が、どこ(だれ)にも相談しなかったと回答しています。

被害者が早い時期に相談できるよう、身近な相談窓口を知らせることがDV被害予防の第一歩と考え、DVに悩む被害女性が気軽に相談できるように、伊勢原市と協働で「ストップ！DV」運動を実施し「DVのないまち・いせはら」の実現をめざします。

■ 運動の内容

目的やコストパフォーマンスを考慮した上で、直接ターゲット層に手渡せるポケットティッシュを作成し、DV相談窓口を広く周知しました。

- ① DV相談窓口のリーフレットを挟み込んだ「ストップ！DV」ポケットティッシュを作成しました。
- ② 公共施設などに「ストップ！DV」ポケットティッシュを配置し、DV相談窓口をPRしました。

■ 運動実施スケジュール

年 月 日	内 容
令和2年8月 7日	市民協働事業提案企画書提出
9月29日	市民協働事業協定書締結
9月29日	ポケットティッシュ・ポスターデザイン決定・発注
10月 6日	ポケットティッシュ納品
10月 7日	公共施設に、「ストップ！DV」ティッシュの配布協力を依頼
令和3年1月15日	民生委員児童委員に配布
3月17日	各自治会長に配布
4月30日	事業報告書提出

■ 運動実施経費

・ラベル印刷ポケットティッシュ作成費		
	1,000 個@7,117 円	7,117 円 (ソロプチ分)
	1,000 個@7,117 円	7,117 円 (市分)
・ラベルデザイン修正料		0 円 (ソロプチ分)
・事務費		330 円 (ソロプチ分)
		14,564 円

■ 業務分担

- ・提案者の国際ソロプチミスト伊勢原は、「ストップ！DV 運動」に係る経費を負担し、運動内容の実践を担いました。
- ・伊勢原市は、「ストップ！DV 運動」を実施するために、予算の範囲内で経費を負担し、必要な情報収集・提供と業務支援を担いました。